



店内カウンターではほえむ店主の八木澤智子さん（左）と次男のお嫁さんの真利江さん（右）

新鮮野菜の和カフェ&居酒屋
わをん
店主 八木澤 智子
住所：大田原市黒羽町1143-1
電話：0287-15317066

商工会には自社の事業を通じて地域に貢献したいと「顔晴っている」会員さんが多くいらつしやいます。今回は、黒羽にある「新鮮野菜の和カフェ&居酒屋わをん」の店主、八木澤智子さん（以下、智子さん）と次男のお嫁さんの八木澤真利江さん（以下、真利江さん）に、これまでの歩みや事業にかける想いなどをお伺いしました。

◆はじめに事業の概要をお伺いします

当店は、県内や地元の生産者から新鮮な野菜を仕入れており、旬の野菜を活かした料理を提供しています。また、7月からランチメニューを一新して、人気の唐揚げや黒羽メンチカツが定食でも楽しめるようになりました。お食事のほかにも、お惣菜の販売や野菜の直売所もありますので、気軽にお立ち寄りいただければ幸いです。

今年の6月に、おかげさまで一周年を迎えました。これからお客様とのつながりを大切にして、愛されるお店になりたいと思います。

（次ページへ続く）



店舗外観 店内には宴会用の和室も完備

CONTENTS

- 顔晴る企業紹介（黒羽商工会） 1・2
- 小林信作氏が全青連会長に就任 3
- 商工連通常総会開催 4
- 新会長の紹介 5
- 井戸会長（栗野）が産業功労表彰を受賞 5
- 県青連、県女性連通常総会 5
- 伴走支援の現場から（茂木町商工会） 6・7
- 商工会からこんにちは（黒羽商工会） 8

■黒羽で開業したい

県内で飲食業を経営していた店主の智子さん。充実した日々を送っていたが、ふと年齢を意識したときに今後の人生を考えると、母の故郷である黒羽の美しい田園風景が目につかんだ。よく母と一緒に川遊びをした記憶が蘇り、思い出の地、黒羽で飲食店を開きたいと決意した。

引き寄せられたかのように、この川の近くに物件が見つかった。しかし、12年間放置されたままだったことから、片付けや掃除に明け暮れた。「あのときは体力勝負。本当に大変でした」と苦笑した。

智子さんが開店に向けて奮闘している姿を見た真利江さんは、スタッフとして手伝うことを決心し、二人で協力しながら約半年間かけて準備をした。店名の「わをん」は、五十音順で最後の3文字「わをん」が由来。「最後の仕事としてこの地で腰を据えて全うしたい」との想いが込められている。

■得意分野を活かしながら、二人三脚で営業

料理担当の智子さんは、毎日10種類近くのお惣菜と日替わり



併設された直売所で新鮮な野菜を販売している

メニューなどを提供している。季節にあつた新鮮な野菜を取り入れながら、今日は何を作ろうかと考えるのが至福のひとつ。たとえ間引きされるような人参でも無駄にはせず、天ぶら、ゲラッセ、時にはわさびソース和えなど、豊富なアイデアで様変わりさせる。「生産者から『こんな食べ方があるんだ。レシピを教えてほしい』と言われることもあります。丹精込めて作った野菜を美味しく食べてもらうことで、お客様はもちろん、生産者にも喜んでもらいたいです」と語った。

ホールを担当する真利江さんは、慣れない接客で戸惑うこともあったが、今では「接客を褒めてもらえることが一番嬉しいですよ」と弾けるような笑顔を見せた。

時には冗談を交えながら談笑する二人。真利江さんが「お義母さんのような料理は作れ

ない」と話すと、智子さんは「私は掃除が苦手だし、インスタグラムでのPRはできない」と返す。お互いに不得手な部分を支え合いながら、二人三脚で営業を続けている。

■売上向上に向けて商工会も支援

人気メニューの「黒羽メンチカツ」を、食事だけでなく単品でも販売したいと考えた智子さんは、昨年、商工会の郡司主任にテイクアウトサービスについて相談したところ、「需要動向調査」の提案を受けた。郡司主任と専門家から調査項目の設定等についてアドバイスを受けて調査を行った結果、充分な需要が見込めると判明するとともに、幅広い意見や改善点を知る



ランチタイムはおろしポン酢で食べる「黒羽メンチカツ定食」が人気。野菜をたっぷりと使った副菜も美味しいと評判だ。

ことができた。専門家による説明も分かりやすかったため、販売促進のための効果的な手法も学ぶことができたという。そして、今年の2月からテイクアウトサービスが始まった。

■今後の展望について

「わをん」には、地元のお客様をはじめ、前の店舗の常連さんも足を運ぶ。開店してまだ1年ということもあり、お客様アンケートの実施やリクエストに応えたメニューを提供するなど、より良いお店づくりに力を入れている。智子さんは、「来店される方はみな、家族のように思っています。ゆくゆくは、実家のように思ってもらえるお店になりたいです。」と想いを語った。

仲の良い親子が迎え入れてくれるお店。美味しい料理と居心地の良さで、実家のような安らぎと元気がもらえるだろう。



店内の一角では真利江さんのハンドメイドのアクセサリや雑貨を販売している

ながら見守りサポート企業になろう！

～事業活動の中で見守り活動を実践してみましょう～

「ながら見守り」とは、日常生活や事業活動のなかで、防犯の視点をもって行う見守り活動です。地域や子どもたちへ見守りの目を向けることで、防犯意識を高めることができます。

県の出前講座(無料)を受講して「ながら見守りサポート企業」になりませんか。詳細は右記2次元コードをご覧ください。

出前講座のご案内

社内研修等の機会にぜひ受講をご検討ください。
詳細はこちら



【問い合わせ・申込先】栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課生活・交通安全担当 Tel: 028-623-2154

薄井会長が県議会議長と会談



(左)池田忠県議会議長(右)薄井正明会長

4月25日、商工連の薄井会長は、第112代の県議会議長に就任した池田忠氏（大田原市）を訪ね、商工会地域の現状などについて情報交換した。

会談では、物価高や賃上げに伴う価格転嫁、トランプ関税等の影響が懸念され、中小・小規模事業者への継続した支援が必要との結論に至った。

薄井会長は、「会員企業のために全力に取り組む」と決意を表明し、池田県議会議長に引き続きの連携と支援をお願いした。



都道府県青連会長等と記念撮影をする小林信作全青連会長（前列、左から5番目）

5月14日、全国商工会青年部連合会第59回通常総会において、小林信作前県青連会長が第26代全国商工会青年部連合会会長に就任した。任期は令和9年5月31日までの2年間。本県からは約50年ぶりで二人目となる。

氏は壬生町商工会青年部部長、県青連会長並びに関東ブロック商工会青年部連絡協議会会長を歴任した。

6月10日に開催された就任祝賀会には、多くの来賓や関係者、県内外から青年部長が出席し、門出を祝福した。

小林信作前県青連会長が全青連会長に就任

相談無料

3つの支援機関が連携し合同出張相談会を開催します

信用保証協会・よろず支援拠点・商工会の3機関で組織した「**とちぎ中小企業応援隊**」は、事業者や創業者・創業を検討している方等を対象に、資金繰りや事業承継等の様々な経営課題の解決に向けた相談・支援を行っています。下記日程の10:00～16:00で合同出張相談会を開催しておりますので、ぜひ最寄りの商工会にお申し込みください。

日付	場所	対象者	日付	場所	対象者
9月18日(木)	茂木町商工会	主に県東地区の事業者等	9月19日(金)	うつのみや市商工会	主に県央地区の事業者等
11月27日(木)	那須町商工会	主に県北地区の事業者等	11月28日(金)	佐野市あそ商工会	主に県南地区の事業者等
令和8年 1月22日(木)	下野市商工会	主に県南地区の事業者等	令和8年 1月23日(金)	那須烏山商工会	主に県東地区の事業者等

福祉共済からのお知らせ

福祉共済の傷害プランとシニア傷害プランは「**熱中症の補償**」を付帯しています。（※傷害ライトプランは対象外）

今夏も猛暑が続き、熱中症のリスクも高まります。

お問い合わせはご加入の商工会にご相談ください。

熱中症の補償

日常生活や業務中に**熱中症**になったときに補償

けがの補償で熱中症も補償

●例えば、このような熱中症になったとき

猛暑の中、工事現場作業中に熱中症になってしまった。

猛暑の中、スポーツをしていたら熱中症になってしまった。

熱中症とは

急激かつ外来による日射または熱射により身体に障害を被ったことをいいます。

「全ては会員のために」を実践へ



▲挨拶する薄井会長

商工連第64回通常総会

5月28日、ホテルニューイタヤにおいて、商工連の第64回通常総会が、福田富一知事、池田忠県議会議長をはじめ、関係機関や経済団体の代表を来賓に迎えて開催された。



▲議長を務める越沼理事

冒頭、商工連の薄井正明会長は、「商工連は県内33商工会と共に、『会員企業の繁栄・発展を図ること』を組織の目標とし、活動理念である『全ては会員のために』を実践し、会員事業者に一層信頼され、地域発展の原動力となるべく活動していく」と挨拶した。

総会では、議長に商工連の越沼哲士理事（湯津上）を選出し、令和6年度事業報告及び収支決算など5議案を慎重審議した結果、すべて原案どおり可決決定された。

令和6年度事業総括

以下の4つの重点事業に積極的に取り組んだ。

一、**企業支援の強化・充実**
各種経営課題をワンストップで支援を行うことを目的に、令和7年1月に信用保証協会、国のよろず支援拠点、商工会による「とちぎ中小企

役員（都賀町）、小林信作理事（県青連）の辞任に伴い、新理事に伊藤邦夫会長（藤岡町）、高根沢大地会長（県青連）、新監事に田中美雄会長（足利市坂西）が選任された。新役員の任期は、令和9年5月30日までの残任期間となる。終了後には、アクションプランと会員加入促進運動の成績が優秀な商工会に対し表彰が行われた。

役員の選任

監事



田 中 美 雄
（足利市坂西）

理事



高根沢 大 地
（県青連）

理事



伊 藤 邦 夫
（藤岡町）

二、商工会の組織強化

商工会の組織力強化を図るため、全国統一「会員加入促進運動」を展開し、全商工会

業支援」を発足させ、国が進める支援機関の体制整備と連携強化に対応するための取組を開始した。県内3か所の商工会において、合同出張相談会を行い、資金繰りを含めた経営改善、創業、事業承継などの課題解決や経営支援を行った。

四、中小企業・小規模事業者の経営環境整備に向けた要望活動の実施

地方経済活性化と中小企業・小規模事業者の成長・持続的発展のために、中小企業・小規模事業者対策予算の拡充や物価高対策並びに適正な価格転嫁に向けた支援など11項目を栃木県知事及び栃木県議会議長へ要望した。

で加入促進運動を実施した。また、青年部・女性部の育成強化では、県青連・女性連の運営指導や各種事業を行った。特に女性部では、関東ブロック女性部連絡協議会の交流研修会・主張発表会の幹事県となり、317名の参加者を迎え宇都宮市で開催した。

三、人材育成の強化・充実

会員事業者を直接支援する職員の資質向上のため、各種セミナー等を実施したほか、中小企業大学校への派遣を行い、能力強化を図った。また、中小企業診断士資格取得に向けた支援等を行い、「人材育成の強化・充実」を図り、商工会の組織強化につなげる取組を実行した。



受賞された井戸道廣会長

6月13日に県公館で行われた「栃木県各種功労者及び優良団体表彰」において、栗

栃木県産業振興功労により表彰 井戸道廣会長（栗野商工会）

野商工会の井戸道廣会長が産業振興功労者として表彰された。

氏は平成7年から栗野商工会の理事、平成22年には会長に就任、令和6年からは商工連理事として活躍されている。

氏は商工会会長として、栗野地域の名産品である「そば」のPRを目的に、「栗野そば街道」の普及啓発を積極的に行っている。

推進している。また、地域の祭りやイベントへの出店支援等により、地域活性化に寄与してきた。さらに、台風19号（令和元年）により甚大な被害を受けた事業所の復興を図るため、栗野商工会「ふるさとあわの復興プロジェクト」を立ち上げ、被災事業所の施設・設備の復旧及び整備を推進。地域内サプライチェーンの再整備による雇用維持などに重要な役割を果たした。商工会の活動等を通して、地域の商工業の振興と発展に寄与したことが認められた。

役員改選

7商工会で役員改選 3商工会で新会長が誕生

西方	那珂川町	佐野市あそ
荻原 幸一 （建築業） ・平成25年から理事 ・平成28年から副会長	小峰 直人 （クリーニング業） ・令和元年から理事 ・令和5年から副会長	大関 輝雄 （印刷及びOA機器販売業） ・平成19年から監事 ・平成25年から副会長

5月20日から27日にかけて、県内33商工会では通常総（代）会が開催され、新たに3人の新会長が誕生した。

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査2025

9月下旬頃から
調査書類を
お届けします

調査期日

10.1水

<https://www.kokusei2025.go.jp/>
国勢調査2025 検索

県女性連第60回通常総会



左から青木彩季副会長、副会長に就任した郡司栄子副会長（黒羽）、副会長を退任された藤田峰子部長、理事に就任した榎原博子部長（那須塩原市）、大関啓子副会長、山田祐子県女性連会長

5月9日、県女性連は第60回通常総会をホテル東日本宇都宮で開催した。総会では、議長に神山洋子部長（足尾町）を選出し、令和7年度事業計画や、役員の補充選任など4議案が慎重に審議され、全て原案どおり承認された。役員の補充選任では、副会長に郡司栄子部長（黒羽）、理事に榎原博子部長（那須塩原市）がそれぞれ選任された。

県青連第58回通常総会



左から、瀬谷直人副会長（足利市坂西）、大森裕介副会長（壬生町）、高根沢大地会長（那須塩原市）、鈴木晴久副会長（塩谷町）

総会では、議長に瀬谷直人部長（足利市坂西）を選出し、令和7年度の事業計画や任期満了に伴う役員の選任など5議案が慎重に審議され全て原案どおり承認された。任期満了に伴う役員の選任では、高根沢大地部長（那須塩原市）が新会長に選任されたほか、副会長に大森裕介部長（壬生町）、鈴木晴久部長（塩谷町）、瀬谷直人部長（足利市坂西）が選任され、新たな執行部体制が誕生した。

新会長に高根沢大地氏（那須塩原市）

県青連は5月8日、第58回通常総会をホテルニューイタヤで開催した。

伴走支援の現場から

茂木町

茂木町商工会では、会員との信頼関係を構築、強化するため、手嶋会長と副会長二人が職員とともに全ての会員企業を巡回する活動を実施している。今号では、会員事業所との信頼関係があつてこそ成果に結びついた支援事例を2件紹介する。

事業承継支援

タイミングを見極め
専門支援機関の活用を提案

有限会社 若葉

取締役会長 若井孝之
代表取締役 若井伸之
(ホテル・割烹 若葉)
住所…芳賀郡茂木町大字茂木 2161-3
電話…0285-6310148



左から、五味測課長、若井孝之の会長、若井伸之の社長、

事業所の概要

(有)若葉は、昭和45年に孝之現会長が日本料理店を創業後、観光需要の高まりを機に、昭和50年に「ホテル若葉」を開業した。日本料理店は「割烹若葉」とし

てホテル館内で営業している。看板メニューの鰻料理は、創業当時から変わらない手法と伝統を継承しており、絶品と評判。近年は、県外から訪れる宿泊客の注文も増加している。

巡回を積み重ね事業承継のきっかけを提供

10年ぐらい前から息子である伸之氏への事業承継を検討していた孝之会長。自分はまだできるという想いと新型コロナウイルスの影響から、そのタイミングに悩まれている。一方、伸之氏も十分な経験を積んでいたこともあり、継ぐ覚悟はできていた。20年近く(有)若葉への巡回を重ねてきた五味測課長は、お二人の気持ちを把握し、会社の状況や課題な



看板メニューの「うな重(上)」は職人が気持ちを込めて作りあげている



ホテル若葉外観。町の中心部、逆川の隣に位置する。

どを幅広く把握していたことから、県の事業承継・引継ぎ支援センターを交えて相談すること提案した。事業承継の考え方、手法などを第三者の立場で提示してくれた引継ぎ支援センターとの連携支援は有効なものとなり、事業承継計画の策定と同時に県の補助金も活用することができた。全ての準備が整い、令和4年11月に伸之氏は代表取締役に就任した。

事業承継は早いほうが良い

伸之氏はビジネスユースの宿泊者が多いことから、キャッシュレス化や通信環境の整備、リモート作業で使いやすい客室テーブルへの変更など、お客様へのサービスの充実を図り、営業管理面ではデータ化などを進めた。

事業承継についてお二人は「早ければ早い方が良い」と口を揃える。理由は、10年前だったら

挑めたことが、年齢が上がるにつれてハードルが高くなるからという。孝之会長は「これから若い人の時代、様々な発想が必要」と語る。

五味測課長の前でも課題等を本音で語り合うお二人。取材の帰り際、「五味測さんにはまだまだ頑張つて欲しいね」と互いに笑顔がこぼれ、両者間の信頼関係があつてこそ実現した支援であつたことが感じられた。

創業支援

経営課題は尽きない、
全力で支援を継続

焼肉ホームQ

代表 高久祐司
住所…芳賀郡茂木町茂木 394-1
電話…090-6207-0012



(左) 高久祐司代表、(右) 商工会の星野主任
商工会を紹介してくれた理事さんから頂いた暖簾とともに

商工会の理事が相談を仲介

高久代表は「40歳までに地元で焼肉店を開く」という目標を持ち、県内の有名焼肉店で長年修業を積んだ。しかし経営面となると初めて知ることばかり。地元の先輩に不安な胸の内を話すと「商工会に星野という職員がいるから一緒に相談しよう」と案内された。その先輩は商工会青年部OBで商工会の理事を務める方だった。

面談をした星野主任は、代表の熱い想いを聞き心を打たれた。必要な手続き等を丁寧に説明しながら、金融機関を含めた三者で資金繰りや、事業計画策定などの支援を行った。高久代表は修行したお店で教育的立場を任されていたこともあり、勤務を続けながら店舗物件の改装や各種準備に奔走した。念願叶い、令和6年8月に焼肉ホームQはオープンした。

商工会による継続支援

開業間もなく、星野主任の提案により、厚労省の「業務改善助成金」制度を申請し、採択された。大型食洗機を導入できたことで労働生産性が大幅に向上した。また、販路開拓につなげるため、イベントへの出店も提

案。お客様が後日、家族連れで来店されるなど集客に繋がった。さらに、価格設定について適切な専門家を派遣、原価分析の際に受けたアドバイスは、高久代表の心の支えになっているという。

高久代表は「一人だと助成金制度を知ることがなかった。みんなもつと商工会に相談すれば



高級感溢れる店内。ロールスクリーンが下りることで、半個室で食事が楽しめる



店舗外観。広々とした作りになっており、宴会等にも利用可能



厳選したお肉を自家製の甘ダレで味わえる

良いのに」と笑顔を見せた。星野主任は「人口減少が続く茂木町での開業は簡単ではない。だから最初の面談では厳しいことを言ったが、代表の本気が伝わったので私も本気で支援します。私を紹介してくれた理事さんの期待にも応えたい」と語った。

■今後の展望

高久代表は「創業して約1年なので、PRに力を入れたい、ランチ営業の要望も頂いている」と意気込む。星野主任は「ありがとうと言ってもらえるだけでこの仕事のやりがいを感じます」と語った。

取材中も、考案中の新メニューについて意見を交わす二人。伴走支援を始めて1年足らずだが、信頼関係がしっかりと構築されていた。二人の熱意は相乗効果となり、焼肉ホームQの発展に寄与していくだろう。

商工会の記帳システム 「MA1商工会エディション」のご案内



このクラウド会計ソフトの主なメリット

- 1 誰でも迷わずに
かんたん操作でスタート
- 2 法令改正があってもあんしん
- 3 充実したサポート体制



無償
他社製品からの
乗り換えも
スムーズです

※電帳法の修正履歴は
コンパートできません

詳細はご加入の商工会にお問い合わせください

栃木県警防犯アプリのご案内

栃木県警察防犯アプリ「とちぎポリス」はあなたや家族を守る情報や機能がいっぱい！
詳細は右記 QR コードをご確認ください。



左から、壬生町の中嶋常任委員、芳賀町の水沼常任委員、優勝した那須塩原市の松本副部长、佐野市あその塩田副部长、氏家の百村副部长

栃木県商工会青年部連合会 主張発表会 松本弘基氏（那須塩原市）が優勝

県青連（高根沢大地会長）は6月26日、主張発表会を栃木県総合文化センターで開催した。青年部活動及び青年部員としての活動等を発表することにより、相互に研鑽することで、地域リーダーとしての自覚と意識の高揚をはじめ、若手経営者・後継者としての資質向上に資すること等を目的にしている。県内の各ブロックから選抜された5人が出場し、それぞれが商工会青年部員としての想いを力強く発表、会場は熱気と緊張感に包まれた。

審査の結果、「人は人でしか変わらない」のテーマで発表した那須塩原市商工会青年部の副部长で自動車販売業を営む松本弘基氏が優勝した。

松本氏は、那須塩原市で生まれ育ち、地元の優しさや温かさと縁があつて商いを始めることができたこと、青年部で培った人脈や商工会の支援により経営が安定してきたこと、青年部活動を通じて地元へ恩返ししたいと考えていることなどについて発表した。

松本氏は10月1日に宇都宮市で開催される、関東ブロック大会に栃木県代表として出場する。

まちの話題

足尾銅山記念館がオープン



足尾銅山記念館 外観

一般社団法人古河市兵衛記念センターが建設を進めてきた「足尾銅山記念館」が8月8日（金）にオープンする。足尾銅山を経営した古河市兵衛の精神を伝えるシアター動画、プロジェクションマッピング、鉱害問題、銅の作り方の紹介や足尾の歴史などを資料展示で詳しく紹介している。銅山の歴史を深く学べる場所であり、足尾銅山観光と共に、ぜひ足を運んでいただきたい。なお、現在は事前予約制のため、下記にお問い合わせを。

住 所：〒321-1512 栃木県日光市足尾町 2281 番 1

問合せ先：一般社団法人古河市兵衛記念センター事務局 0288(25)3800

営業時間：9:30 ～ 16:00（入館受付は午後 3 時 00 分まで）

休 業 日：火曜日・水曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、
足尾町納涼祭（8 月 13 日）、臨時休館日あり

中小・小規模事業者を支援し地域を支える商工会職員を募集します



試験概要は下記のとおりです。詳細は右記 QR コード又は HP からご覧いただきご応募ください。

職 種 経営指導員

採用人数 若干名

勤 務 地 栃木県内の商工会又は栃木県商工会連合会

受験資格 ①高等学校卒業以上の学歴を有すること
②採用時年齢が40歳以下であること

募集期間 令和7年9月29日（月）～11月14日（金）

試 験 日 筆記 11月26日（水）、面接 12月9日（火）

採 用 日 令和8年1月1日（木）又は令和8年4月1日（水）

問合せ先 栃木県商工会連合会（総務課）
☎028-637-3731

当商工会は、会員事業所の事業発展と経営健全化のため、伴走型の支援を継続し、国や県・市の融資制度をはじめ各種支援事業を積極的に活用するよう推進しているところです。併せて、これらの推進による会員数純増を目指し、会員増強運動も進めております。

また、まちづくり事業につきましましては、紫陽花まつり、くろばね夏まつり等の各種イベントを開催し、来場されるお客様に対し「癒し」と「おもてなし」を提供することにより、イメージアップと経済効果の拡大を図り、地域の発展のために取組んでいます。

商工会をもっと身近に！
各地の商工会をご紹介します



左から
前列：磯局長、郡司会長、佐藤主任
後列：長谷川主事、郡司主任、齋藤主事補

黒羽商工会

商工会からこんにちは

商工会では新規会員を
募集しています

是非、
お仲間をご紹介ください。
詳しくは、最寄りの商工会まで
ご連絡ください。

今後、会員の加入促進を図りながら、会員事業所の経済効果拡大、地域の活性化に繋がるイベントの開催や支援に取組んでまいります。